

## あ と が き

マルチメディアという言葉が連日のようにマスコミに登場している。21世紀の日本はマルチメディアパソコンの登場により、より高度な情報化社会に進展していくであろう。

本誌では巻頭言として「私と情報化社会」と題して株式会社CSKの大川功代表取締役会長兼社長が生きてこられたコンピューター産業を通して、コンピューターのめざましい進歩、コンピューターと通信で代表される情報化社会でわれわれはいかに生きるべきかという問題を提起されている。

そもそも情報とは何なのか。英語では information がこれにあたるが、岩波国語辞典では情報とは「ある物事の事情について知らせ、それを通して何らかの知識が得られるようなもの」と定義されている。情報の伝達様式もめ

ざましく進歩し、これまでのパソコンで扱う情報は主に文字や数値で何か堅苦しいイメージがあったが、マルチメディアパソコンはCD-ROM プレイヤーをそなえ、音、画像、動画までも自在に伝えることが可能で、理性というよりも感性に直接訴える方法であり、感性情報処理という言葉が使われている。従って、これからの仕事、研究、学習のしかたに影響し、思考やコミュニケーションのスタイルを変化させるであろう。そのような時代にあつてわれわれは個人個人の情報を見る眼を養い、送られてくる情報を自分自身で判断する能力を高めることが必要であろう。

(一色 淳 記)

### 幹事会 (要旨) (平成6年5月)

1. 第133回医学会総会について報告があった。  
演題件数：口演46件、展示34件  
特別講演：4件
2. 第134回医学会総会開催日が、平成6年10月15日に決定した。  
当番教室 法医学教室、形成外科学教室
3. 臨床懇話会の開催報告および開催予定の報告があった。  
開催予定  
第241回(6.5.31)脳神経外科学  
第242回(6.6.30)泌尿器科学
4. 編集状況並びに編集予定について討議した。
5. 投稿規定の改正について、図表の数、抄録の必要性の有無、等について討議した。
6. 名誉会員候補者として下記の会員を推薦することが承認された。  
中村 智、古川 欽一、木村幸三郎、  
成田 令博、徳田 安章
7. 平成5年度収支決算(案)および平成6年度収支予算(案)が原案通り承認された。
8. 評議員会事項が原案通り承認された。

### 編集委員会

伊藤 久雄(会長)  
三浦 幸雄(副会長)  
網野 三郎( )  
岩根 久夫(庶務幹事)  
小柳 泰久( )  
内野 善生(編集幹事)  
高山 雅臣( )  
登坂 恒夫(会計幹事)  
伊東 洋( )  
友田 輝夫(委員)  
水野 文雄( )  
一色 淳( )  
白井 正彦( )  
加藤 治文( )  
斎藤 利彦( )  
福武 勝幸( )  
星加 明德( )  
松岡 健( )  
阿部 公彦( )  
林 徹( )  
J. Patrick Barron( )  
藤波 襄二(監事)  
内田 安信( )

平成6年6月20日 印刷

平成6年7月1日 発行

東京医科大学雑誌 第52巻 第4号

発行者 伊藤 久雄

発行所 東京医科大学医学会  
(東京医科大学総務部企画調査課内)  
東京都新宿区新宿6-1-1  
TEL (3351) 6141 (代)

印刷所 共立印刷株式会社  
東京都中央区新川2-23-9  
TEL (3551) 9891 (代)